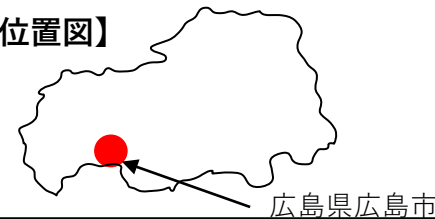


農業未経験者でもスムーズに就農できる新規就農者パッケージの一環として事業を活用

- 広島市は消費地に近いという利点を活かし、コマツナなどの施設葉物野菜の生産が盛んである。
- 市は、他産業並みの所得を確保できる農業経営者を育成する“ひろしま活力農業”経営者育成事業（以下、「活力事業」という。）を平成9年度から実施し、施設葉物野菜での担い手を育成。
- 新規就農パッケージとして、就農の際にハードルとなる①農業技術の習得②就農地の確保③就農施設の整備④就農後の支援を、研修中から就農後まで一貫してサポートする体制を整えている。

【位置図】



広島県広島市

取組前

- 就農施設は市の補助事業を活用し農業協同組合が整備した後に研修修了生にリースしていた。
- 物価高騰の影響で施設整備費も高額となっており、それに伴いリース代も活力事業開始当初と比べ約2倍となり、研修修了生の経営を圧迫していた。



取組内容

- R6年度から、施設整備の実施主体が（公財）広島市農林水産振興センター（以下、「センター」という。）となり、本事業と市の補助金を活用し施設整備を行った。パイプハウス3,000㎡、調整棟、かん水施設一式を市内2地区に整備した。



取組後(成果)

- 研修施設として活用した後研修修了生に賃貸した。
- サポート体制構築事業と市補助金を活用し、ハウスの賃貸料を年間110万円の定額としたことで、研修修了生の経営費の負担軽減に繋がっている。
- 現在2名の研修修了生が認定新規就農者となり、整備した施設を活用中である。



【サポート体制】

- 1 研修生の募集、選考、育成研修及び就農施設整備センター
広島市
広島市農業委員会
広島県農地中間管理機構
- 2 就農地の確保等
広島市
広島市農業委員会
広島県農地中間管理機構
- 3 就農後の営農支援等
広島県西部農業技術指導所
広島市
広島市農業協同組合
ひろしま農業協同組合
日本政策金融公庫等

新規就農者や研修生の声

- 研修修了時には、就農に必要な農地の確保や施設整備が済んでいるためスムーズに就農できた。
- 農業未経験者で技術や知識面が不安だったが、研修でしっかり学ぶことができ、必要な技能を身に付けることができた。

サポート体制構築事業 活用年度：令和6年度

【問合せ先】公益財団法人広島市農林水産振興センター
TEL：082-842-4421
E-mail：ninaite@haff.city.hiroshima.jp
HP：http://www.haff.city.hiroshima.jp/index.php